



サステナビリティが世界的に重要なテーマとなる中、大学にはこれを牽引していく役割が求められています。大学キャンパスに求められるサステナビリティは、省エネ省資源化を推進しながら教育と研究を支えることはもちろん、災害時の対応、都市との共生のあり方、豊かな空間形成による大学文化の継承などを包含する、キャンパスの総合的なマネジメントによってかたちづくられると考えられます。

大学・地域デザイン小委員会では、ISCN (International Sustainable Campus Network) 等の世界的な大学間ネットワークとも連携しながら、日本の大学キャンパスに求められるサステナビリティのあり方を検討するとともに、2013年からは、サステナブルキャンパスに向けた大学の取組を自己評価するためのシステムを検討してきました。

本研究会は、サステナブルキャンパスに関する評価の方向性とその評価方法について、現在までの研究成果を公開するとともに、日本建築学会都市計画委員会・建築計画委員会・建築社会システム委員会などの関連する分野の専門家、実際に評価システムを利用するユーザー、キャンパス計画や大学施設の設計に関わる計画・設計者と広く議論を深め、より詳細かつ新たな視点からの考察を行い、成果としての完成度を高めようとするものです。

日 時： 2015年10月10日(土曜日) 14:00～17:00

会 場： 建築会館 301+302 会議室

参加費： 会員 1000円、会員外 1500円、学生 500円

協 力： 一般社団法人 文教施設協会 (RIEF)、

(予 定) 公益社団法人 日本ファシリティマネジメント協会 (JFMA)

サステナブルキャンパス評価システムに関する研究会

総合的キャンパス評価ツールを目指した今後の展開

主催： 一般社団法人 日本建築学会 都市計画委員会 大学・地域デザイン小委員会

2015年10月10日(土曜日)



● 開会挨拶・主旨説明： 上野 武 (千葉大学/大学・地域デザイン小委員会主査)

● これまでの取り組みについての講演

1. 小篠隆生 (北海道大学、サステナブルキャンパス WG 主査)
2. 池上真紀 (北海道大学)

● ディスカッション

ー 総合的キャンパス評価ツールを目指した今後の展開 ー

コメンテーター： 恒川和久 (名古屋大学)、倉田直道 (アーバンハウス都市建築研究所)、
清家 剛 (東京大学)、平松宏城 (グリーンビルディングジャパン)、
安田幸一 (東京工業大学)

オーガナイザー： 小篠隆生 (前掲)

● まとめ 鶴崎直樹 (九州大学)

司会・副司会： 吉岡聡司 (大阪大学)・小貫勅子 (東北大学)

記録： 安森亮雄 (宇都宮大学)・池内祥見 (大阪大学)



お申し込み・お問い合わせ

9月30日(水曜日)までに、お名前・ご所属・メールアドレスを明記のうえ、
吉岡聡司 (大阪大学) yoshioka@arch.eng.osaka-u.ac.jp
までお知らせください。

会場 (建築会館) :
都営三田線 三田駅 A3 出口から徒歩 2 分
JR 田町駅から徒歩 5 分